

令和元年度 第2回我孫子市総合教育会議概要

- 件 名／令和元年度 第2回我孫子市総合教育会議
- 日 時／令和元年11月27日（水）15：30～16：30
- 場 所／教育委員会 大会議室
- 出席者／星野市長、倉部教育長、豊島教育委員、長谷川教育委員、足立教育委員、蒲田教育委員、廣瀬総務部長、丸教育総務部長、木下生涯学習部長
（総務課）森田課長、尾高主任
（指導課）戸塚課長（教育研究所）遠藤所長
（生涯学習課）菊地次長
（秘書広報課）飯田参事、高見澤主幹
- 傍聴人／0名
- 協議・調整事項
 1. ヤング手賀沼の今後について
 2. 東京2020オリンピック・パラリンピック学校連携観戦チケットについて（報告）

【ヤング手賀沼の今後について】

ヤング手賀沼（適応指導教室）の現状と課題について、事務局(教育研究所)より説明を行った。また、長期欠席・長期不登校となっている児童・生徒の現状と支援体制について意見交換を行った。

【意見交換】

- ・ヤング手賀沼は、市の東側に設置されており、我孫子地区の子が通いづらいところがある。
- ・解消策として、こども発達センターのバスに通いづらい子どもを乗れるようにすることはできないか。また、そのような検討はなされているのか。
- ・ヤング手賀沼のような教室は、市内1か所だけでなく、2か所設置することが望ましい。
- ・子ども部と協議を行いながら検討していきたいと考える。
- ・布佐地区では、小中一貫を進めているが、中1ギャップにより不登校が出るようなことがあれば、考え方を変えなければいけないのではないか。
- ・小中一貫により、中1の時は登校していたが、中2になって不登校にな

る傾向が出る場合もあるので、その辺の対応もしっかり考えておかなければいけない。

- ・ヤング手賀沼は場所の問題もあるが、教える人の確保も課題としてしっかり捉えてほしい。

- ・中学校に3年間登校できない子に対しては、家庭環境・先生や友達との対人関係をしっかり見ながら対応していく必要がある。

【東京2020オリンピック・パラリンピック学校連携観戦チケットについて】

先月、報道発表された東京オリンピック・パラリンピック聖火リレーのルートについて、道の駅しょうなん～手賀沼公園で実施されることが決定したこと、また、千葉県で行っている聖火ランナーの募集方法など、現時点での情報について事務局（秘書広報課）より説明を行った。

【意見交換】

- ・聖火リレーが我孫子市を通ることになり、多くの我孫子の子どもたちが聖火リレーに関わり思い出に残る経験をさせてあげたい。

- ・聖火リレーを多くの方に見ていただけるよう、また盛り上げることができるよう、様々なイベントなどを検討していきたいと考えている。

- ・詳細なルートなど、新しい情報が入った場合には、その都度教育委員の皆様に情報提供させていただく。